



報道関係各位

2025年9月29日
テラサイクルジャパン合同会社

テラサイクル、横浜市資源循環局および森永製菓株式会社と
「inゼリー」をはじめとするパウチタイプゼリー飲料空き容器の
回収リサイクル実施に関する覚書を締結
～鶴見スポーツセンターに回収ボックスを設置開始～

テラサイクルジャパン合同会社(本社:神奈川県横浜市、ジェネラルマネージャー:浪花 優子)は、横浜市資源循環局、森永製菓株式会社(東京都港区芝浦、代表取締役社長 COO・森 信也)と、「inゼリー」をはじめとするパウチタイプゼリー飲料の空き容器を回収し、資源として新たな製品へリサイクルする取組(以下、「inゼリー リサイクルプログラム」)を横浜市内公共施設で実施することについて覚書を締結し、最初の設置場所として鶴見スポーツセンターに回収ボックスを設置して空き容器の回収を10月6日から開始します。今後横浜市での回収拠点を拡大していく予定です。



「inゼリー リサイクルプログラム」は、飲み終えたパウチタイプゼリー飲料の容器を回収し、資源として新たなプラスチック製品へリサイクルする取り組みです。回収対象のパウチタイプゼリー飲料の空き容器は購入店舗やメーカーを問いません。2021年9月に開始してから、全国の学校や公共施設を中心



心に展開しており、2025年8月末日時点で、約1,571kgのパウチタイプゼリー飲料の空き容器が集まりました。

この覚書により「SDGs未来都市」として先導的な取り組みを行う横浜市においてパウチタイプゼリー飲料の空き容器をリサイクル可能な資源として認知を高め、より多くの方に参加していただけるプログラムを目指します。



■回収ボックスを設置した鶴見スポーツセンター担当者様コメント
「inゼリーをはじめとするパウチタイプのゼリーは若いころから、スポーツの合間によく飲んでいました。私にとって身近な製品のリサイクル活動に鶴見スポーツセンターが協力できること、とてもうれしく思います。スタッフをはじめ、スポーツセンターをご利用される方、そして地域の方と一緒に、エネルギーをチャージしながらこの活動を盛り上げていきたいです。また、鶴見川でウォーキングやランニングしている方にも是非ご利用していただきたいです。多くの空き容器をこの回収BOXで集め、一緒にリサイクルに取り組んでいきたいと思います。」



inゼリーリサイクルプログラム
リサイクルで地球の未来をコンディショニング！

回収しているもの
パウチタイプゼリー飲料の空き容器（ブランド・メーカーは問いません）

このプログラムについて
inゼリーリサイクルプログラムではパウチタイプゼリー飲料の空き容器を「こみ」ではなく「資源」として回収しています。集められた空き容器はリサイクルされ、新たな製品へと生まれ変わることが可能となります。是非飲み終わったゼリー飲料を専用の回収BOXにご投入ください！[このBOXが登録！](#)

■回収した容器から製作したトング※を活用した取り組み

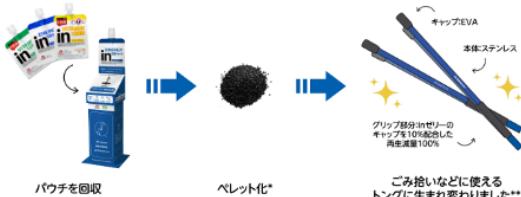
「inゼリー リサイクルプログラム」で回収したパウチタイプゼリー飲料の空き容器を活用し、グリップ部分に「inゼリー」のキャップが10%配合された再生原料を使用したトングを製作しました。完成したトングは、回収ボックスの設置にご協力いただいた学校や施設に寄贈をいたしました。またジョギングしながらごみ拾いをする「プロギング」という新しいスポーツのイベントを開催し、トングを活用しております。

※トングのグリップ部分に「inゼリー」のキャップが10%配合された100%再生原料が使われています



inゼリーリサイクルプログラム

回収した容器がトングに生まれ変わりました！



リサイクルで地球の未来をコンディショニング！

*今回ペレット化したのはキャップ部分です。
**トングのグリップ部分にinゼリーのキャップが10%配合された100%再生原料が使われています。



■inゼリーリサイクルプログラムページ：

<https://www.terracycle.com/ja-JP/brigades/injelly>